編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30-83	小学校	理科	理科	第３学年
発行者の番号･略称	教科書の記号･番号	教　科　書　名		
61 啓林館	理科 306	わくわく理科３		

1 編修の基本方針

自然に親しみ，自ら問題発見～問題解決し，未来を切りひらく力を育てるために

国際調査によると，近年，日本の子どもたちは，理科を学ぶことに対する意欲や有用性への認識は改善傾向にありますが，諸外国に比べると，肯定的な回答の割合が低い状況にあります。

小学校理科は，未来を担う子どもたちが初めて出会う科学的思考の場です。これから予期せぬ自然災害や国際課題に直面したとき，科学的な知識をもとに，自ら考え判断して行動する必要があります。また，安全や安心に根ざした科学技術とともに生きることもたいへん重要です。このような状況のもと，次のような編修方針を立てました。



目指す子ども像

自分で考え，いっしょに考え，学ぶ楽しさと学んだ成果を実感できる子ども

自然に興味をもち，自然から学び，未来にわたって自然とともに生きる意識をもった子ども

① 主体的に問題解決に取り組み，成長を実感できる教科書

（1）「①見つける」→「②調べる」→「③ふり返る」の学習過程で，問題解決の能力が高まります。
（2）学習の見通しをもって，主体的に問題解決に取り組むことができます。
（3）学習後に自らの成長や学びの深まりを実感できます。

② 理科の基礎学力が身につき，科学的な思考力･表現力が育つ教科書

（1）基礎･基本を大切にし，理科で必要な知識や技能を確実に習得できます。
（2）基礎･基本を応用して，科学的に説明する力が身につきます。
（3）自然の事物･現象をとらえる「理科の見方･考え方」を大切にし，科学的な思考力を育てます。

③ 学習の有用性を感じ，学び続ける意欲がもてる教科書

（1）実社会や実生活との関連を意識させる話題から，学習の有用性を実感できます。
（2）自然を愛し，生命を尊重し，環境保全や自然との共生を自ら考える姿勢を育てます。
（3）他教科とのつながりや発展的な内容も充実させ，学習をさらに広げ，深めます。

① 主体的に問題解決に取り組み，成長を実感できる教科書

(1)「①見つける」→「②調べる」→「③ふり返る」の学習過程で，問題解決の能力が高まります。

●各学年の巻頭に**「しぜんのふしぎを，とき明かそう！」**を設け，問題解決の全体の流れを把握することができるようにしました。

①見つける：単元導入（学習のめあて，思い出してみよう，はじめに考えてみよう？）

②調べる　：小単元内（問題解決の過程）

③ふり返る：単元末（まとめノート，たしかめよう，活用しよう，もう一度考えてみよう！，つなげよう）



〈しぜんのふしぎを，とき明かそう！〉p.4-5

●小単元内は問題解決の各過程を大きなロゴで表して矢印で結び，子どもにとっても，教師にとっても，学習の流れをわかりやすく示しました。

●解決すべき**「問題」**と観察･実験を通してわかったことの**「まとめ」**は，同じオレンジ色で示し，対応を明確にしました。

●混同しがちな結果と考察，結論を区別できるよう**「けっか」**，**「けっかから考えよう」**，**「まとめ」**と明確に区別しました。



〈小単元内の問題解決の流れ〉p.155-156

●また，主体的な学習を促すため，「けっか」，「けっかから考えよう」，「まとめ」は，観察･実験の次の見開きに掲載しました。

(2) 学習の見通しをもって，主体的に問題解決に取り組むことができます。

単元導入

●**「学習のめあて」**を示し，この単元での学習内容を意識できるようにしました。

●**「思い出してみよう」**を設け，既習事項や日常経験を確認できるようにしました。

小単元内

●**「問題をつかもう」**では，自然の事物･現象について，子どもどうしの話し合いから，「問題」を見つけられるようにしました。

●**「予想と計画」**では，問題について自分なりの考えをまとめて予想や仮説をもち，積極的に調べる方法を考えることができるようにしました。

●**「もっと知りたい」**では，わかったことから，新たな問題発見に向かう意欲をはぐくむようにしました。

(3) 学習後に自らの成長や学びの深まりを実感できます。

●単元末の**「まとめノート」**では，学習過程をふり返り，知識を整理できるようにしました。

●単元導入での**「はじめに考えてみよう？」**と同じ問いかけを，単元末に**「もう一度考えてみよう！」**として入れ，学習の終わりに自己評価，相互評価することにより，自己の成長を確認でき，学びの深まりを実感できるようにしました。



単元導入 p.23



単元末 p.34

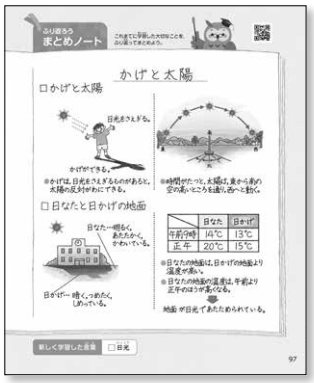
② 理科の基礎学力が身につき，科学的な思考力・表現力が育つ教科書

(1) 基礎・基本を大切にし，理科で必要な知識や技能を確実に習得できます。

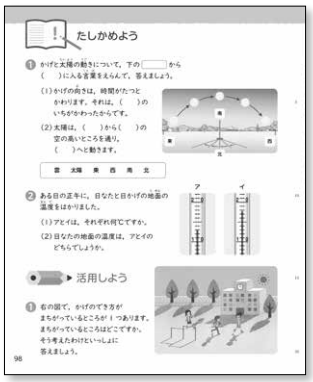
学習内容の定着

●**「まとめノート」**では，学習内容をまとめる習慣づけができるようにしました。また，**「新しく学習した言葉」**と巻末索引で，科学用語の確実な定着を図りました。

●**「たしかめよう」**を設け，学習内容が確実に定着するようにしました。



〈まとめノート〉p.97



〈たしかめよう〉p.98
〈活用しよう〉p.98

観察・実験などの活動

●観察・実験を安全に行うため，器具の使い方は，該当箇所でそれぞれ丁寧に解説し，また，いつでも参照できるように，巻末に**「器具の使い方」**としてまとめて掲載しました。

●**「きろくのまとめ方」**，**「きろくの整理のしかた」**(p.21)を設け，わかりやすく説明しました。

●巻末には**「きろくカードのかき方」**，**「ノートのまとめ方」**，**「つたえるときのまとめ方」**(p.168-170)を設け，記録を整理してレポートにまとめ，表現する力が身につくようにしました。

(2) 基礎・基本を応用して，科学的に説明する力が身につきます。

●単元末に**「活用しよう」**を設け，図や写真から必要な情報を読み取って考察する問題を扱い，知識を応用する力や科学的に説明する力が養えるようにしました。これにより，全国学力・学習状況調査の結果により出された課題にも対応しました。

●**「これまでの学習をつなげよう」**(p.138)では，電気を通すもの，磁石でつくものについて，複数の単元にまたがって学習した内容から，知識を関連づけて思考する力がつくようにしました。

(3) 自然の事物・現象をとらえる「理科の見方・考え方」を大切にし，科学的な思考力を育てます。

●巻末に**「３年の理科をふり返ろう～理科の見方～」**(p.164)を設け，領域ごとに特徴的な視点で自然をとらえたことをふり返るようにしました。

●巻末の**「理科の考え方をはたらかせよう」**(p.178-179)では，３年で育成すべき問題解決の力(差異点や共通点をもとに，問題を見いだす力)を，大隅良典先生からのメッセージや具体的な事例をもとに示しました。



〈３年の理科をふり返ろう〉p.164



〈理科の考え方をはたらかせよう〉p.178-179

③ 学習の有用性を感じ，学び続ける意欲がもてる教科書

(1) 実社会や実生活との関連を意識させる話題から，学習の有用性を実感できます。

●**「理科の広場」**や単元末の**「つなげよう」**では，社会や日常生活と関連した内容をビジュアルな紙面で扱い，理科に一層興味をもち，理科を学ぶ有用性を実感できるようにしました。

●**「つなげよう」**では，学習内容に関連した職業やはたらいている人からのメッセージも紹介し，理科の学習が職業につながることを意識できるようにしました。



〈つなげよう〉 p.80-81

(2) 自然を愛し，生命を尊重し，環境保全や自然との共生を自ら考える姿勢を育てます。

●巻頭では**「しぜんを見つめる」**というタイトルで，自然へアプローチする視点を与え，理科の学習にいざなうものとしました。

●野外への持ち運びに適した**「植物たんけんカード」**，**「こん虫たんけんカード」**を巻末につけ，校外学習や家庭学習の機会に自然の共通性や多様性に触れることができるようにしました。

●**「しぜんを大切に」**のマーク表示により，観察･実験の際にも，生命尊重や環境保護を意識できるようにしました。



〈こん虫たんけんカード〉 巻末

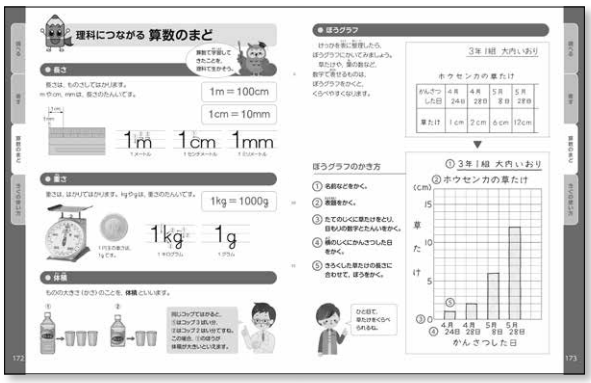
(3) 他教科とのつながりや発展的な内容も充実させ，学習をさらに広げ，深めます。

●**「理科につながる算数のまど」** (p.172-173)では，「長さ」，「重さ」，「体積」，「ぼうグラフ」を取り上げ，算数の学習内容を理科で生かせるようにしました。

●**「おもちゃランド」** (p.160-163)では，学習した知識･技能を活用して，ものづくりを計画し，製作･活動を体験できるようにしました。

●子どもの興味･関心に応じて，学習内容をさらに深めたり，広げたりできる内容に**「はってん」**というマーク表示をして扱っています。

●裏表紙に**「保護者の方へ」**のメッセージを掲載し，理科の楽しさを家庭でも実感していただけるようにしました。



〈理科につながる算数のまど〉 p.172-173

2 対照表

教育基本法第２条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第１号 幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。	▶教科書全体にわたって，見通しをもって主体的に観察・実験を行うことを通して，真理を求める態度を育成するようにしています。	全体
	▶「理科の考え方をはたらかせよう」で，問題解決の中で物事をとらえる視点や考え方が身につき，豊かな情操を養うことができるようにしています。	p.178-179
	▶「自由研究」「話し合いのしかた」で発表時の話し方・聞き方を扱い，相手の立場に立って行動することの大切さを示しています。	p.58-59, 171
第２号 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。	▶単元導入での「はじめに考えてみよう？」と同じ問いかけを，単元末に「もう一度考えてみよう！」として入れ，自己の成長を確認でき，学びの深まりを実感して自己肯定感が高まるようにしています。	p.14とp.79 p.23とp.34 p.151とp.158
	▶「理科の広場」や「つなげよう」で，身近な生活に関連した話題を紹介し，理科の有用性や，理科を生かした職業への憧れを感じられるようにしています。	p.47, 53, 80-81, 99, 137
	▶「活用しよう」「これまでの学習をつなげよう」では，知識を日常生活に活用できるようにしています。	p.52, 98, 110, 138, 148
第３号 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。	▶男女の役割を固定せず，子ども一人ひとりが主人公で，互いに協力しながら観察・実験を進めている写真やイラストを掲載しています。	p.10, 45, 93など多数
	▶子どものイラストを描く際には，性別，人種，身体的特徴，さまざまな障害などに十分配慮しています。	p.13, 141, 163など多数
第４号 生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。	▶多くの動植物や自然環境を紹介し，自然の共通性・多様性と豊かさに目を向けるようにしています。	p.8, 61, 63-64, 植物・こん虫たんけんカード
	▶「理科の広場」「つなげよう」で生命の神秘さに触れる話題から，命を尊ぶ心を育てるようにしています。	p.35, 72-73, 149
	▶生命尊重や環境への意識を高めるよう，適所に「しぜんを大切に」のマークを表示しています。	p.9, 39, 41, 65, 117
第５号 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	▶風を利用したこいのぼり，日光を利用したほしがき，道具としてのてんびんを，昔からの生活の知恵として紹介しています。	p.47, 99, 156
	▶光の性質との関連で，オリンピック・パラリンピックの聖火の話題を取り上げ，国際協力と平和の意識が生まれるようにしています。	p.111

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

プログラミング教育への対応

○**「おもちゃランド」**（p.160-163）では，磁石，豆電球，ゴムなどの材料を用い，おもちゃが動作する条件を制御する計画・製作・活動を行い，理科でのプログラミング的思考の入り口としています。

○**「これまでの学習をつなげよう」**（p.138）では，身の回りにあるものを，電気を通す・通さない，磁石につく・つかないという条件で見分ける構成とし，条件分岐の考え方に結びつくようにしています。

指導書の充実

教科書をより効果的に活用できるよう冊子（朱註冊子，解説冊子ほか）とデータを用意します。

学習者用デジタル教科書の発刊

紙の教科書と同一内容で，文字サイズや背景色等を変更し，弱視の子どもにも読みやすくなります。また，すべての文字にふり仮名を付す機能も搭載し，漢字が苦手な子どもへの支援も行います。文章の読み上げも可能です。

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数表）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30-83	小学校	理科	理科	第３学年
発行者の番号･略称	教科書の記号･番号	教　科　書　名		
61 啓林館	理科 306	わくわく理科３		

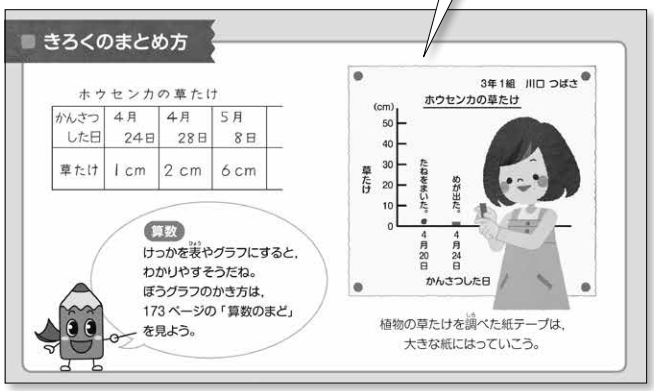
1　編修上特に意を用いた点や特色

3年の特色　はじめての理科。比較し，差異点や共通点から，問題を見いだす力が身につくようにしました。



p.13

p.13 科学的な見方の第一歩。生物を比較する視点や分類の仕方を対話の例で示しています。



p.21

p.21 表やグラフを使った記録のまとめ方を扱っています。



p.143

p.143 新単元「音のせいしつ」では，音の大小によるものの震え方の違いを見つけます。

ICTの活用

紙面にQRコードを掲載し，学習内容と関連する参考情報をタブレットパソコンやスマートフォンなどで閲覧できるようにしています。学習意欲を高め，家庭で主体的に学習する際にも，参考になるようにしています。



p.178

紙面の特色 子どもの学びやすさ，教師の指導のしやすさを大切にした紙面です。

学習の流れ

①見つける		②調べる			③ふり返る		
単元導入	学習のめあて	問題の発見 予想・計画	観察・実験	結果 考察・結論 新たな問題の発見	まとめノート	たしかめよう 活用しよう	つなげよう

① 単元導入



p.150-151

「思い出してみよう」により，既習事項や日常経験を確認し，**主体的に**取り組む姿勢が養われます。

「学習のめあて」を示し，**見通しをもって**学習に入ることができます。

「はじめに考えてみよう？」と同じ問いかけを，単元末に「もう一度考えてみよう！」として入れ，**自己評価，相互評価**できるようにしています。

② 問題の発見・予想計画　観察・実験



p.152-153

「問題をつかもう」では見つけた「ふしぎ」について，子どもどうしの**話し合いから問題を見つける**ことができます。

「予想と計画」は，「問題」について**自分なりの考えをまとめて**結果を予想し，調べる方法を計画する場面です。

「器具の使い方」を該当箇所と巻末で，それぞれ丁寧に解説しており，**基本的な実験技能を定着**させることができます。

② 結果・考察・結論　新たな問題の発見



p.154

主体的な学習を促すため，「けっか」，「けっかから考えよう」，「まとめ」は，観察・実験の次の見開きに掲載しました。

「もっと知りたい」により，わかったことから**新たな問題発見に向かう意欲**をはぐくむことができます。

以上，問題解決の過程をフローチャートのように矢印で結んだすっきりとしたレイアウトにより，**子どもにとっても，指導経験の浅い教師にとっても，問題解決の流れがわかりやすい紙面**です。

（③**「ふり返る」**の過程は，「教育基本法との対照表」のp.3, 4参照）

◆観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法および学習指導要領の遵守	教育基本法および学習指導要領を遵守するため，次の編修方針を立てています。	全体
	▶主体的に問題解決に取り組み，成長を実感できる教科書	
	▶理科の基礎学力が身につき，科学的な思考力･表現力が育つ教科書	
	▶学習の有用性を感じ，学び続ける意欲がもてる教科書	
主体的･対話的で深い学び	▶**「①見つける」→「②調べる」→「③ふり返る」**の学習過程で，問題解決する能力が高まります。	全体
	▶単元導入に**「思い出してみよう」**，単元末には**「ふり返ろう　まとめノート」**を設け，学習のつながりや，ふり返りを強調し，より主体的に取り組むことができるようにしています。	p.14とp.78，p.22とp.33，p.42とp.51など
	▶**「問題」**の前に**「問題をつかもう」**を適宜入れ，子どもどうしの話し合いから「問題」を見つけられるようにしています。	p.44, 84, 92, 152など
	▶実験の予想･計画の場面や結果から考察する場面では，協働的な活動の場面を設け，深い学びにつながるようにしています。	p.10, 40, 77, 120など
	▶巻末の**「話し合いのしかた」**では，話すときと聞くときの要点を例示しています。	p.171
学びの見通し･ふり返り	▶単元導入での**「はじめに考えてみよう？」**と同じ問いかけを，単元末に**「もう一度考えてみよう！」**として入れ，学習内容の習得を実感でき，自己成長を確認できるようにしています。	p.14とp.79，p.23とp.34，p.151とp.158
	▶単元導入に**「学習のめあて」**を設け，単元での学習内容を意識して単元の学習に入るようにしています。	p.7, 42, 60, 140など
	▶単元末の**「ふり返ろう　まとめノート」**では，学習過程をふり返り，知識を整理できるようにしています。	p.33, 51, 78, 147など
基礎･基本の定着学力向上	▶単元導入に**「思い出してみよう」**を設け，既習事項や日常経験を確認することができるようにしています。	p.14, 60, 124, 150など
	▶単元末に**「ふり返ろう　まとめノート」**を設け，学習内容をまとめる習慣づけができるようにし，**「新しく学習した言葉」**と巻末索引で，科学的用語の確実な定着を図っています。また，**「たしかめよう」**を設け，学習内容が確実に定着するようにしています。	p.33-34, 97-98, 109-110, 157-158など
	▶単元導入および単元末に**QRコード**を表示し，リンクするデジタルコンテンツにより，学習前に必要となる知識，および学習後の基礎知識の確認ができるようにしています。	p.42とp.51，p.60とp.70，p.74とp.78
発展的な学習	▶興味･関心に応じて，次学年以降の学習内容など，学習をさらに深めたり広げたりできる箇所に，**「はってん」**のマークを表示しています。	p.73, 108, 132
資質･能力の育成	▶単元末の**「活用しよう」**では，図や写真から情報を読み取る問題などを扱うことで，思考力を高めるようにしています。これにより，全国学力･学習状況調査の結果により出された課題にも対応しています。	p.52, 98, 110など
	▶**「これまでの学習をつなげよう」**では，複数単元の知識を整理して全体を関連づけて思考する力がつくようにしています。	p.138
	▶問題解決の過程のつながりを大切にし，「まとめ」の後に適宜**「もっと知りたい」**を入れ，わかったことから話し合いを通じて，新たな問題発見に向かう力を養うようにしています。	p.93, 104, 129など
理科の見方･考え方	▶学年全体を通して**「比較する」**という観点をもとに問題を見いだし，表現することに重点を置いています。	p.13, 40, 46, 106など
	▶巻末に**「3年の理科をふり返ろう～理科の見方～」**を設け，領域ごとに特徴的な視点で自然をとらえたことをふり返るようにしています。	p.164
	▶巻末に**「理科の考え方をはたらかせよう」**を設け，各学年で育成すべき問題解決の力を，最先端の研究者からのメッセージや具体的な事例などをもとに示しています。	p.178-179

観点	留意点	該当箇所
理科の有用性，キャリア教育	▶**「理科の広場」**や単元末の**「つなげよう」**では，社会や日常生活と関連した内容をビジュアルな紙面で扱い，理科に一層興味をもち，理科を学ぶ有用性を実感できるようにしています。	p.35, 47, 72-73, 99, 130など
	▶「つなげよう」では，学習内容に関連した職業や人物も紹介し，職業への憧れを感じることができるようにしています。	p.80-81
観察・実験などの活動	▶安全に行うために**「注意マーク」**の注意文のほか，**「強い光」**などの注意に，視覚的にわかりやすい共通の安全マークを設けています。	実験全般
	▶野外の活動での注意，手を洗うなどの衛生面の配慮も，もれなく示しています。	p.9, 62
	▶器具の使い方などの箇所に**QRコード**を表示し，リンクするデジタルコンテンツにより，基本的な使い方や注意事項を事前に学ぶことができるようにしています。	p.9, 11, 95, 153, 174
	▶学習内容を生かしたおもちゃづくりを自ら計画し，**ものづくり**を体験できるようにしています。	p.129, 146, 160-163
内容・配列・分量	▶子どもが自ら活動し，ゆとりをもって問題解決学習を行うのに適切な時数の配分としています。**（標準時数90に対して，配当時数80，予備の時間10）**	
	▶特にB区分の単元については，系統的な順序性を確保した上で，季節的な不都合が生じないよう，野外観察や飼育・栽培に適した時期に配当しています。また，A区分の「風やゴムのはたらき」を梅雨の時期に室内で活動できるよう設定しています。	
他教科との関連	▶**「理科につながる算数のまど」**では，「長さ」，「重さ」，「体積」，「ぼうグラフ」をとり上げ，**算数**との関連が意識できるようにしています。	p.21, 150, 155, 172-173
	▶「たねをまこう」，「風とゴムの力のはたらき」の単元は，**生活科**での活動を思い出す場面を設けています。	p.14, 42
	▶「ほういじしんの使い方」では，**社会科**での方位記号を思い出す場面を設けています。	p.89
評価	▶単元導入での**「はじめに考えてみよう？」**と同じ問いかけを，単元末に**「もう一度考えてみよう！」**として入れ，学習の終わりに自己評価・相互評価ができるようにしています。	p.14とp.79，p.23とp.34，p.151とp.158
カリキュラム・マネジメント	▶単元導入に**「思い出してみよう」**を設け，既習事項や日常経験を確認した上で学習に入ることができるようにしています。	p.14, 22, 42, 60など
	▶**「これまでの学習をつなげよう」**を設け，複数の単元にまたがる学習内容の知識を整理して関連づけることができるようにしています。	p.138
今日的な課題への対応，持続可能な開発のための教育（ESD），環境，防災・減災	▶生命尊重や環境保護を意識できるよう，適所に**「しぜんを大切に」**のマークを表示しています。	p.9, 39, 41, 65, 117
	▶**「つなげよう」**では，生物の共通性・多様性や生命の神秘さを実感できる話題を紹介し，自然環境への意識を高めるようにしています。	p.35, 72-73, 149
	▶小学生が発明した事例を紹介し，環境保護を身近に感じられるようにしています。	p.137
特別支援教育などへの対応	▶観察・実験の手順を矢印で結ぶ，本文やキャラクターのセリフを意味改行するなど，特別支援教育の専門家の監修のもと，すべての子どもたちが支障なく学習できるインクルーシブ教育に配慮しています。	全体
	▶文字のフォントは，すべて**UDフォント**を採用し，視認性と可読性を高めています。	UD FONT
	▶色覚の個人差を問わず，紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用い，メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）による認証を申請中です。	MUD
	▶学習者用デジタル教科書や拡大教科書を用意し，子どもたちの様々な学習の仕方に対応できるようにしています。	
人権，福祉，国際理解，ジェンダーへの配慮	▶子どもの写真やイラストについては，男女の役割を固定せず，互いに協力しながら積極的に活動していることを含めて，性別・人種・身体的特徴に十分配慮しています。	p.10, 13, 45, 141, 163など
	▶光の性質との関連で，オリンピック・パラリンピックの聖火の話題を取り上げ，国際協力と平和の意識が生まれるようにしています。	p.111

観点	留意点	該当箇所
プログラミング教育	▶条件でものを見分けたり，条件を制御する計画･製作･活動を行ったりすることにより，プログラミング的思考の入り口になるようにしています。	p.138, 160-163
ICTの活用	▶単元の始まりと終わりをはじめとして，**紙面にQRコード**を掲載し，学習内容と関連する参考情報をタブレットパソコンやスマートフォンなどで閲覧できるようにしています。学習意欲を高め，家庭で主体的に学習する際にも，参考になるようにしています。	p.8, 42, 51, 137, 174
	▶コンピュータなどの活用に適した箇所には，**「デジタル」**マークをつけ，積極的な利用を促しています。	p.59, 67, 167
家庭学習への対応，家庭や地域との連携	▶野外への持ち運びに適した**「植物たんけんカード」，「こん虫たんけんカード」**を巻末につけ，家庭学習の機会に自然の多様性や共通性に触れることができるようにしています。	巻末
	▶巻末の**「調べる」**のページでは，学校や地域の図書館，地域の科学館や博物館を積極的に活用するよう促しています。	p.166
	▶裏表紙に**「保護者の方へ」**のメッセージを掲載し，理科の楽しさを家庭でも実感していただけるよう配慮しています。	裏表紙
文字･用紙･印刷･製本	▶軽量で印刷が鮮明な用紙や，AB判でも開きやすく強度も保てる「あじろ綴じ」を採用しています。また，植物油インキや再生紙を使用することでアレルギーや環境にも配慮しています。	

2 対照表

図書の構成･内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
しぜんを見つめる	B	巻頭	1(1)
1．生き物をさがそう	B(1)ア(ア)，イ	p.6-13	4(4)
2．たねをまこう	B(1)ア(ウ)，イ	p.14-21	4(4)
3．チョウを育てよう	B(1)ア(イ)，イ	p.22-35	8(9)
○　植物の育ちとつくり	B(1)ア(ウ)，イ	p.36-41	3(3)
4．風とゴムの力のはたらき	A(2)	p.42-53	8(9)
○　花のかんさつ	B(1)ア(ウ)，イ	p.54-57	1(1)
○　自由研究	A，B	p.58-59	2(2)
5．こん虫のかんさつ	B(1)ア(ア)（イ)，イ	p.60-73	4(5)
○　植物の一生	B(1)ア(ウ)，イ	p.74-81	3(4)
6．かげと太陽	B(2)	p.82-99	8(9)
7．光のせいしつ	A(3)ア(ア)（イ)，イ	p.100-111	7(8)
8．電気で明かりをつけよう	A(5)	p.112-123	6(7)
9．じしゃくのふしぎ	A(4)	p.124-137	7(8)
○　これまでの学習をつなげよう	A(4)（5)	p.138-139	1(1)
10．音のせいしつ	A(3)ア(ウ)，イ	p.140-149	5(6)
11．ものと重さ	A(1)	p.150-159	6(7)
○　おもちゃランド	A	p.160-163	2(2)
○　３年の理科をふり返ろう ～理科の見方～	A，B	p.164	
○　フムロウはかせのしりょう室	A，B	p.165-176	
○　理科の考え方をはたらかせよう	A，B	p.178-179	
○　植物たんけんカード／こん虫たんけんカード	B(1)	巻末	

計　80
（標準時数90）

編　修　趣　意　書

（発展的な学習内容の記述）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30-83	小学校	理科	理科	第３学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名		
61 啓林館	理科 306	わくわく理科３		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
73	こん虫をまねる	2	理科第3学年　B(1)ア(ア)	1.00
108	虫めがねで集めた日光の進み方	2	理科第3学年　A(3)ア(ア)	0.50
132	NきょくとSきょく	2	理科第3学年　A(4)ア(イ)	0.25
149	音をつたえるもの	2	理科第3学年　A(3)ア(ウ)	1.00
			合 計	2.75

（「類型」欄の分類について）

1…学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容